

## 令和2年度第5回埼玉県国民健康保険運営協議会 議事概要

- ・ 日 時 令和3年2月2日（火）午後3時～午後3時50分
- ・ 場 所 埼玉県県民健康センター大会議室A
- ・ 出席委員 13名

### 【被保険者代表委員】

市村委員、柿沼委員、金子委員、堀江委員

### 【保険医又は保険薬剤師代表委員】

廣澤委員、小室委員、中村（勝）委員、齊田委員

### 【公益代表委員】

美田委員、秋山委員、伊藤委員

### 【被用者保険等保険者代表委員】

増尾委員、柴田委員

## 1 議事（1）令和3年度国民健康保険事業費納付金等の本算定について

### ＜事務局＞

- ・ 資料1により、令和3年度国民健康保険事業費納付金等の本算定結果について説明

### 【主な質疑・意見】

- ・ コロナ禍の中で保険税が引上げになるようなことは絶対あってはならないと考える。納付金を減らすために県独自の補填等は考えていないのか。
- ・ コロナ禍で困窮しているのは国保加入者だけでなく被用者保険加入者も同じである。国保は行政が保険者になっているので国保に目が行きがちであるが、国保加入者だけではなく県民全体に配慮して対策を行っていただきたい。
- ・ 新型コロナウイルス感染症による受診控えを反映していないということだが、今後も受診控えの傾向は続くと考え。なぜ反映しなかったのかをしっかりと説明してほしい。
- ・ 令和2年度納付金は2年前の剰余金の調整により大きく減ったため、税率引上げを行わない市町村が多かった。一方で剰余金の調整がなかった令和3年度の納付金は前年度より大幅に増えたため、これに見合うだけの税率引上げが困難で法定外繰入れが増えることが想定される。これを毎年繰り返すと赤字解消が予定どおり進まない。剰余金の多寡による影響を受けないような形での納付金等の算定を検討できないか。
- ・ 安定的な国保運営のため、納付金等の算定の平準化をお願いしたい。
- ・ 保険税制度の根本的な見直しを考える必要があるのではないかと。国を挙げて検討する必要があるのではないかと。

## 2 議事（2）埼玉県国民健康保険運営方針（第2期）の策定の報告について

<事務局>

- ・ 資料2により、埼玉県国民健康保険運営方針（第2期）の策定を報告

【質疑・意見なし】